

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活支援技術Ⅶ Independent Living Skills Ⅶ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
岩田 健	福祉棟2階	初回授業にて説明する。		授業中に指示します
授業の概要				
精神障害および知的障害の原因疾患や特性、個々の生活障害を理解し、その介護・援助の視点と留意点について学ぶ。また、保健・医療と福祉関係者との連携のあり方についても学ぶ。そして、メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康について考える機会とする。				
授業の目標				
①精神障害および知的障害の特性がわかり、介護・援助の視点を説明できるようにする。 ②メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康を保つ工夫を考えることができるようにする。				
授業の方法				
演習科目であるが、講義が中心となる形式である。精神障害者の適切な把握のために、精神障害者施設関係者の講話を取り入れ、ディスカッションの機会とする。				
学習の成果（学習成果）				
①精神障害および知的障害の障害特性から、介護に必要な視点を説明することができる。 ②自己の心の健康について考える機会とすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって） 既習学習「障害の理解Ⅰ・Ⅱ」の復習			
第2回目	精神疾患の基礎知識① 統合失調症			
第3回目	精神疾患の基礎知識② 気分障害（躁うつ病を中心に）			
第4回目	精神疾患の基礎知識② 薬物依存症（アルコール依存症を中心に）			
第5回目	精神障害者の特徴と介護・援助の視点① 統合失調症を中心に			
第6回目	精神障害者の特徴と介護・援助の視点② 気分障害を中心に			

第7回目	精神障害者の地域生活、医療の現状、 地域生活に必要な条件精神障害者の地域生活を支える支援と制度、保健・医療・福祉関係者との連携	
第8回目	精神障害者の理解 精神障害者施設関係者の講話（両毛病院 職員）（レポート1 提出：第9回目）	
第9回目	「メンタルヘルス」課題提示(レポート2 提出：第13回目) 知的障害の概念とその理解および捉え方、ノーマライゼーションの概念	
第10回目	知的障害の原因と特徴	
第11回目	知的障害児（乳幼児期・児童期）の特徴と介護・援助の視点	
第12回目	知的障害者（成人期・高齢期）の特徴と介護・援助の視点	
第13回目	地域生活と社会参加 必要な条件と支え	
第14回目	知的障害者の理解 事例紹介または視聴覚教材	
第15回目	障害を持つ人の加齢と生活障害、まとめ	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	配布資料をもとに自主的にメモしている。提示した資料やテキストは必ず持参している。
レポート	30%	1：講話後のレポート S：感想文にとどまらず学びを明確に記述している。（10%） 2：メンタルヘルスのレポート S：社会人となってからどのように向き合うかを考え、具体的に記述している。（20%）
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	介護福祉士国家試験（筆記試験）に準じた選択形式の筆記試験である。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：新・介護福祉士養成講座 「生活支援技術Ⅲ」 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
心の健康について、ライフサイクルを通して考えていく機会としてほしい。講話については日程や関係者等を変更する場合がある。		